

## 第三者評価結果入力シート（乳児院）

種別	乳児院
----	-----

①第三者評価機関名

社会福祉法人和歌山県社会福祉協議会

②評価調査者研修修了番号

SK2021211

S2022075

③施設名等

名称：	和歌山乳児院
施設長氏名：	小浦 由加里
定員：	40名
所在地(都道府県)：	和歌山県
所在地(市町村以下)：	岩出市中迫667-1
T E L：	0736-69-1001
U R L：	wa-tukusi.jp/wakayamanyujiin/
<b>【施設の概要】</b>	
開設年月日	1973/8/1
経営法人・設置主体（法人名等）：	社会福祉法人和歌山つくし会
職員数 常勤職員：	47名
職員数 非常勤職員：	14名
有資格職員の名称（ア）	保育士
上記有資格職員の人数：	34名
有資格職員の名称（イ）	看護師
上記有資格職員の人数：	9名
有資格職員の名称（ウ）	臨床心理士
上記有資格職員の人数：	3名
有資格職員の名称（エ）	栄養士
上記有資格職員の人数：	1名
有資格職員の名称（オ）	医師
上記有資格職員の人数：	1名
有資格職員の名称（カ）	
上記有資格職員の人数：	名
施設設備の概要（ア）居室数：	乳児室1定員10名55.75㎡ 幼児室6定員30名44.9㎡×6
施設設備の概要（イ）設備等：	病後児保育室
施設設備の概要（ウ）：	親子生活訓練室
施設設備の概要（エ）：	心理療法室

④理念・基本方針

【理念】	<p>①社会福祉に貢献するという社会福祉法人の使命に則り、その役割を果たします。</p> <p>②社会福祉法人の「モデル」を目指す事により、社会福祉の増進に寄与します。</p> <p>上記①と②を実現するため、伝統ある社会福祉法人「和歌山つくし会」職員としての自覚と誇りをもって、「社会的自己実現」を達成できる職場とし、仕事を通じ、「働きがい」を感じ、ひいては「生きがい」を感じる職場とする事を目指します。</p>
【基本方針】	<p>1. 和歌山つくし会は、明るく、温かく、安心できる環境のもと、利用者一人ひとりが心身ともに健やかに育成され、その能力に応じた自立を支援するため、ヒューマンサービスの推進に努めます。</p> <p>2. 和歌山つくし会は、地域福祉への貢献に努めます。</p> <p>3. 和歌山つくし会は、健全な施設経営に努めます。</p> <p>①虐待児童等、社会的養護を必要とする子どもたちに、家庭に代わる場を提供し、「あかるく」あたたかく「あんしん」のできる心を育む。</p> <p>②地域の子育て支援を推進する。</p> <p>（1）緊急時の一時保護委託の受入れ</p> <p>（2）子育て短期支援事業（ショートステイ）</p> <p>（3）病後児保育（きらら）の実施</p> <p>（4）里親支援事業・里親支援センター「なでしこ」</p> <p>（5）育児体験教室（赤ちゃんと遊ぼう）</p> <p>（6）保育実習及び中学生の職場体験学習の受入れ</p> <p>③児童相談所等との連携を密にし、家庭支援専門相談員を中心に、家庭復帰後のフォローアップ事業及び里親支援事業を実施する。</p>

⑤施設の特徴的な取組

1. つくし医療・福祉センターに隣接しているため、子どもの発達相談、診察等に繋がるよう連携がとれている。
2. 里親支援センター「なでしこ」による里親委託への推進、里親制度への周知や新規開拓、里親の資質向上の取組、令和5年度から始めた産後ケア事業による子育て支援等、福祉サービスの質の向上に向け積極的に取り組んでいる。

⑥第三者評価の受審状況

評価実施期間（ア）契約日（開始日）	2023/6/8	
評価実施期間（イ）評価結果確定日	2024/2/1	
前回の受審時期（評価結果確定年度）	令和2年度（和暦）	

⑦総評

◇特に評価が高い点

1. 明るく、温かく、安心できる環境の基で普通の家庭を理想とする運営方針に基づき、家庭的なぬくもりを乳児に感じてもらうことを主とし、保育者が細心の注意を払えるよう小規模グループケアの取組ができています。
2. 感染症対策について、その予防や発生時のマニュアルが詳細に定められており、新型コロナウイルス発生時の対応についても、それらが生かされ子どもの安心、安全確保に繋がっている。
3. 地域における子育て支援として、乳幼児を育てている保護者を対象として、産後ケアやショートステイ等を通じて育児サポートに努めている。又、病後児保育室で看護師と保育士により病後の子どもを保護者のサポートにも努め、緊急一時保護委託の受入れ、育児体験教室の実施等積極的な取組ができています。
4. 児童相談所等との連絡を密にする中で、家庭支援専門相談員を中心に家庭復帰後のフォローアップ事業が行われるとともに、里親支援センターなでしこを設置し、組織的、継続的な里親支援に取り組んでいる。

◇改善が求められる点

1. 保護者等から相談、意見等を受けた際の記録の方法、報告の手順、対応策等のマニュアルの整備を望みたい。
2. 養育・支援を継続するために事業継続計画（BCP）を定め必要な対策、訓練等を行うよう望みたい。
3. 職員の教育・研修等の機会は確保されているが、職員の職責に応じた研修体系を定めることにより、職員の更なる育成を望みたい。

⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

総評して頂き改善が求められる点については、優先順位を付けBCPは今年度中に作成し、後の項目に関しては、計画を立案し、看護部長と共に「職員の教育体制について」や「保護者対応について」のマニュアル等、作成に向け取り組んでいきます。専門職としての資質を高め、社会のニーズに適切に対応できるよう研修計画など明確にし、職員のスキルアップが望めるように努めていきたいと思っております。

⑨第三者評価結果（別紙）

## 第三者評価結果（乳児院）

### 共通評価基準（45項目）Ⅰ 養育・支援の基本方針と組織

#### 1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。□	第三者 評価結果
① 1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。 <input type="checkbox"/> 理念、基本方針が法人、施設内の文書や広報媒体(パンフレット、ホームページ等)に記載されている。 <input type="checkbox"/> 理念は、法人、施設が実施する養育・支援の内容や特性を踏まえた法人、施設の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。 <input type="checkbox"/> 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。 <input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。 <input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、保護者等への周知が図られている。 <input type="checkbox"/> 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。	a ○ ○ ○ ○ ○ ○
<b>【判断した理由・特記事項等】</b> 施設の使命や役割を反映した理念に基づく養育・支援に関する基本方針が明文化され、職員や保護者等へ十分な周知が図られている。	

#### 2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	第三者 評価結果
① 2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。 <input type="checkbox"/> 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。 <input type="checkbox"/> 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。 <input type="checkbox"/> 子どもの数・子ども像等、養育・支援のニーズ、潜在的に支援を必要とする子どもに関するデータを収集するなど、施設(法人)が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。 <input type="checkbox"/> 定期的に養育・支援のコスト分析や施設入所を必要とする子どもの推移、利用率等の分析を行っている。	a ○ ○ ○ ○
<b>【判断した理由・特記事項等】</b> 社会福祉事業全体の動向について、中期計画作成シートの中で措置児童、一時保護児童等現状分析ができています。又、行政担当者との間で社会福祉事業の動向、養育支援のニーズ等乳児院の今後についての情報交換を行う等の取組ができています。	
② 3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。 <input type="checkbox"/> 経営環境や養育・支援の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。 <input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。 <input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。 <input type="checkbox"/> 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。	a ○ ○ ○ ○
<b>【判断した理由・特記事項等】</b>	

経営課題や問題点を明らかにし、理事長他出席し実務者会議を月一回開催し、経営状況について共有している。

### 3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	第三者 評価結果
① 4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a
<input type="checkbox"/> 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。	<input type="checkbox"/>

**【判断した理由・特記事項等】**

3~5年の中・長期計画の中でビジョンが明記されており、乳児院の多機能化や高機能化など組織全体が目指すべき姿勢を明確にしている。

② 5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a
<input type="checkbox"/> 単年度の計画(事業計画と収支予算)に、中・長期計画(中・長期の事業計画と中・長期の収支計画)の内容が反映されている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 単年度の計画は、実行可能な具体的な内容となっている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	<input type="checkbox"/>

**【判断した理由・特記事項等】**

中・長期計画を踏まえ令和5年度の運営方針が明示されており、被虐待児及び社会的養護を必要とする子どもたちにとって、里親支援センター「なでしこ」による活動が年々充実しており需要も拡大している。

(2) 事業計画が適切に策定されている。	
① 6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b
<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。	
<input type="checkbox"/> 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。	
<input type="checkbox"/> 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。	
<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)されており、理解を促すための取組を行っている。	<input type="checkbox"/>

**【判断した理由・特記事項等】**

年度始まりの職員会議で職員等参画の基で事業計画が策定され、周知し理解を促すための取組ができている。今後、事業計画があらかじめ定められた時期、手順に基づいて評価、見直し等行うことを望みたい。

② 7 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	b
-------------------------------	---

<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容が、保護者等に周知(配布、掲示、説明等)されている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を保護者会等で説明している。	
<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、保護者等がより理解しやすい工夫を行っている。	
<input type="checkbox"/> 事業計画については、保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

乳児院は保護者の諸事情により、子どもの養育ができなくなっているため、面会に来られる方も少なく保護者会など開催できない状況の中で、周知が困難であることは十分理解できるが、諸機会を通じ周知、理解を促す工夫を期待したい。

#### 4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	第三者 評価結果
① 8 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a
<input type="checkbox"/> 組織的にPDCAサイクルにもとづく養育・支援の質の向上に関する取組を実施している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 養育・支援の内容について組織的に評価(C:Check)を行う体制が整備されている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 評価結果を分析・検討する場が、施設として位置づけられ実行されている。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

目標管理シートに基づき、個々の1年間の目標を立案し面接の基、年度末に最終評価、面接を行い評価を行っている。又、年2回の面接を行い個々にあった支援が出来るよう組織的、計画的な取組ができています。

② 9 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b
<input type="checkbox"/> 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。	
<input type="checkbox"/> 職員間で課題の共有化が図られている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

目標管理シートは個々によって課題が違う中で、5W1Hで具体的に目標を立て達成に向けた取組を行い、評価結果から明らかになった課題の改善策等の仕組みが明文化されている。

## II 施設の運営管理

### 1 施設長の責任とリーダーシップ

(1) 施設長の責任が明確にされている。	第三者 評価結果
① 10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの施設の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任について、施設内の広報誌等に掲載し表明している。	<input type="radio"/>

<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。	○
<input type="checkbox"/> 平常時のみならず、有事(事故、災害等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。	○

【判断した理由・特記事項等】

施設長は、自らの役割と責任等について、運営規程の職務内容の中で明確化されており、不在時の権限委任等を含め明示している。

② 11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
<input type="checkbox"/> 施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。	○
<input type="checkbox"/> 施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。	○
<input type="checkbox"/> 施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

施設長は遵守すべき法令等について、福祉分野のみならず新しい知見を幅広い分野について理解するための取組ができています。

(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。

① 12 養育・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a
<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。	○
<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	○
<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。	○
(社会的養護共通) <input type="checkbox"/> 施設長は、職員の模範となるように、自己研鑽に励み、専門性の向上に努めている。	○

【判断した理由・特記事項等】

施設長は養育・支援の質の向上に努め、定期的、継続的に評価、分析を行う等意欲を持って指導力を発揮している。

② 13 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a
<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 施設長は、施設(法人)の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。	○
<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、施設内に同様の意識を形成するための取組を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	○

【判断した理由・特記事項等】

施設長は実務者会議等を通じ、職員の働きやすい環境づくりのために、コミュニケーション、挨拶等声掛けを率先して  
 するよう心掛ける等、業務の実効性を高める取組に努めている。

## 2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		第三者 評価結果
①	14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、 取組が実施されている。	a
	<input type="checkbox"/> 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。	○
	<input type="checkbox"/> 養育・支援に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。	○
	<input type="checkbox"/> 計画にもとづいた福祉人材の確保や育成が実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。	○
	(社会的養護共通) <input type="checkbox"/> 各種加算職員の配置に積極的に取り組み、人員体制の充実に努めている。	○
【判断した理由・特記事項等】		
必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、人材の確保、育成等に関する方針が確立され、取組ができている。又、年度別定年退職数及び採用予定数等具体的な計画も策定されている。		
②	15 総合的な人事管理が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 法人、施設の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にし、職員自らが将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みができている。	○
	<input type="checkbox"/> 人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。	○
	<input type="checkbox"/> 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。	○
【判断した理由・特記事項等】		
令和5年度から目標管理シートに基づき、職員一人ひとりを把握し面接等を行う中で、総合的な人事管理ができる様 に取組んでいるが更なる支援の充実を望みたい。		
(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
①	16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の相談窓口を施設内に設置するなど、職員が相談しやすいような仕組みの工夫をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 改善策については、人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。	○

福祉人材の確保、定着の観点から、施設の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。

○

【判断した理由・特記事項等】

有休取得も本人の希望に沿って取得できており、ワークライフバランスにも配慮し、介護休暇や子どもの介護なども充実し、働き易い職場づくりに取組んでいる。又、職員の相談窓口として心理士が中心になって、きめ細かな対応ができています。

(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

①

17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。

a

施設として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。

○

個別面接を行う等施設の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標(目標項目、目標水準、目標期限)が明確かつ適切に設定されている。

○

職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。

○

職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。

○

【判断した理由・特記事項等】

職員の質の向上に向け、職員一人ひとりの目標が明確に設定され、育成に向けた取組ができています。

②

18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。

b

施設が目指す養育・支援を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。

○

現在実施している養育・支援の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、施設が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。

○

策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。

定期的に計画の評価と見直しを行っている。

定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。

【判断した理由・特記事項等】

施設が職員に必要とされる専門技術や、専門資格を明示し教育・研修等の機会は確保されている。今後、職員の職責に応じた研修体系を定めることにより、職員の更なる育成を望みたい。

③

19 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。

a

個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。

○

新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。

○

階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。

○

外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。

○

職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。

○

(社会的養護共通)

スーパービジョンの体制を確立し、職員の専門性や施設の組織力の向上に取り組んでいる。

○

【判断した理由・特記事項等】

職員への研修参加機会は確保され、外部研修に関する情報提供も適切に行う等配慮した取組ができている。又、心理士がアドバイザーとなっているので適宜相談できる体制も整っている。

(4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

①	20 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b
	<input type="checkbox"/> 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。	○
	<input type="checkbox"/> 実習生等の養育・支援の専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。	
	<input type="checkbox"/> 指導者に対する研修を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

実習受入れマニュアルや受入れ体制の整備もできており、オリエンテーション等も網羅され適切におこなわれている。学校側との連携としては、実習中に先生が一度しか来ない等、会えないこともあるため、今後は、継続的な連携を維持していくための工夫等を期待したい。

### 3 運営の透明性の確保

(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。

第三者  
評価結果

①	21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a
	<input type="checkbox"/> ホームページ等の活用により、法人、施設の理念や基本方針、養育・支援の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公開している。	○
	<input type="checkbox"/> 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公開している。	○
	<input type="checkbox"/> 法人、施設の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人、施設の有存在意義や役割を明確にするように努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 地域へ向けて、理念や基本方針、施設で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。	○

【判断した理由・特記事項等】

運営の透明性を確保するための取組ができている。年1回乳児院の機関紙を発行しており、和歌山つくし会からも年4回つくしジャーナルを発行する等情報公開に努めている。

②	22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)における事務、経理、取引等に関するルール、職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)の事業、財務について、外部の専門家による監査支援等を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 外部の専門家による監査支援等の結果や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。	○

【判断した理由・特記事項等】

公正且つ透明性の高い適正な経営、運営のため内部監査や外部監査も実施している。

#### 4 地域との交流、地域貢献

(1) 地域との関係が適切に確保されている。		第三者 評価結果
①	23 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの個別の状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、必要があれば職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設や子どもへの理解を得るために、地域の人々に向けた日常的なコミュニケーションを心がけている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの買い物や通院等日常的な活動についても、定型的でなく個々の子どものニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。	○
【判断した理由・特記事項等】		
地域との関わりについて基本的な考え方を文書化している。コロナウイルス感染症が2類から5類になり、産後ケア事業が今年度から始まり、地域在住の母親にレスパイト的に利用してもらっている。又、病後児保育事業はコロナ禍には、かなり減少したが今年はコロナ前の利用数に改善しており、ショートステイの利用にも繋がっている。		
②	24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a
	<input type="checkbox"/> ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。	○
	<input type="checkbox"/> 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化して取り組んでいる。	○
	<input type="checkbox"/> ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。	○
	<input type="checkbox"/> ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。	○
【判断した理由・特記事項等】		
ボランティア受入れに関するマニュアルも整備されている。又、事前説明等に関してもオリエンテーション等に明示する等の体制が確立している。		
(2) 関係機関との連携が確保されている。		
①	25 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a
	<input type="checkbox"/> 当該地域の関係機関・団体について、個々の子どもの状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 地域に適当な関係機関・団体がない場合には、子どものアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。	○
【判断した理由・特記事項等】		
施設として、個々の子どもの状況に対応できる必要な社会資源を明示したリスト等を作成している。又、関係機関等との連絡会議も定期的に行われている。		
(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
①	26 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)が実施する事業や運営委員会の開催、関係機関・団体との連携、地域の各種会合への参加、地域住民との交流活動などを通じて、地域の福祉ニーズや生活課題等の把握に努めている。	○

(社会的養護共通) □施設のもつ機能を地域へ還元したり、地域の関係機関・団体との連携等を通して、地域の具体的な福祉ニーズの把握に努めている。	○
(5種別共通) □地域住民に対する相談事業などを通じて、多様な相談に応じる機能を有している。	○

【判断した理由・特記事項等】

地域の福祉ニーズ等を把握するため、行政や関係機関等との連携を密にし情報共有を図っている。

② 27 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a
□把握した福祉ニーズ等にもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。	○
□把握した福祉ニーズ等にもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。	○
□多様な機関等と連携して、社会福祉分野のみならず、地域コミュニティの活性化やまちづくりなどにも貢献している。	○
□施設(法人)が有する養育・支援に関するノウハウや専門的な情報を、地域に還元する取組を積極的に行っている。	○
□地域の防災対策や、被災時における福祉的な支援を必要とする人びと、住民の安全・安心のための備えや支援の取組を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

2023年度から始めた産後ケアでは、助産師により、地域の母親への育児相談や指導などの支援に努めている。又、住民の安全・安心のため、県からの委託を受け備蓄対応も行っている。

### Ⅲ 適切な養育・支援の実施

#### 1 子ども本位の養育・支援

(1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。	第三者 評価結果
① 28 子どもを尊重した養育・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
□理念や基本方針に、子どもを尊重した養育・支援の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	○
□子どもを尊重した養育・支援の実施に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	○
□子どもを尊重した養育・支援の実施に関する基本姿勢が、個々の養育・支援の標準的な実施方法等に反映されている。	○
□子どもの尊重や基本的人権への配慮について、施設で勉強会・研修を実施している。	○
□子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

倫理綱領や規程等策定し、適切な子どもへの関わりができるよう心理士による研修や勉強会の実施等により、子どもを尊重した養育・支援に努めている。

② 29 子どものプライバシー保護に配慮した養育・支援が行われている。	a
□子どものプライバシー保護について、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務等を明記した規程・マニュアル等が整備され、職員への研修によりその理解が図られている。	○
□規程・マニュアル等にもとづいて、プライバシーに配慮した養育・支援が実施されている。	○
□一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守るよう設備等の工夫を行っている。	○

保護者等にプライバシー保護に関する取組を周知している。

【判断した理由・特記事項等】

子どものプライバシー保護に関する規程・マニュアル等が整備されている。又、子どもにとって生活の場にふさわしい環境を提供し設備等の工夫を凝らし、プライバシーが守れるよう取組んでいる。

(2) 養育・支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。

①	30 保護者等に対して養育・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。	a
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針、養育・支援の内容や施設の特性等を紹介した資料を準備している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設に入所予定の保護者等については、個別に丁寧な説明を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 見学等の希望に対応している。	○
	<input type="checkbox"/> 保護者等に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。	○

【判断した理由・特記事項等】

施設を紹介する資料は、写真・図・絵等の使用でわかり易い内容となっている。家族には家庭支援専門相談員が中心となって電話連絡等の対応に努めている。又、子ども女性障がい者センターとも連絡を密にしながら、家族への相談も行い、適切な対応ができています。

②	31 養育・支援の開始・過程において保護者等にわかりやすく説明している。	a
	<input type="checkbox"/> 保護者等が自らの状況を可能な限り認識し、施設が行う養育・支援についてできるだけ主体的に選択できるよう、よりわかりやすくなるような工夫や配慮をして説明している。	○
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の開始・過程における養育・支援の内容に関する説明と同意にあたっては、保護者等の自己決定を尊重している。	○
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の開始・過程においては、保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。	○
	<input type="checkbox"/> 意思決定が困難な保護者等への配慮についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。	○

【判断した理由・特記事項等】

施設が定める様式に基づいて、保護者に説明し同意を得た上で、その内容を書面に残す等の対応ができています。意思決定が困難な保護者等への配慮についてルール化され、適正な説明・運用が図られている。又、家庭環境が様々である中で、連絡が不可能な場合は相談しながら、保護者に寄り添う対応に努めている。

③	32 養育・支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の内容の変更にあたり、従前の内容から著しい変更や不利益が生じないように配慮されている。	○
	<input type="checkbox"/> 他の施設や地域・家庭への移行にあたり、養育・支援の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設を退所した後も、施設として保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設を退所した時に、保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。	○

【判断した理由・特記事項等】

退所後の相談できる担当者や窓口の設置について明文化し、説明の上、その内容を記載した文書を手渡す等養育・支援の継続性に配慮した対応ができています。又、措置変更や里親委託、家庭引き取りなど、子ども女性障がいセンターと連携しながら、家庭支援専門相談員が中心となって対応しています。

(3) 子どもの満足の向上に努めている。

①	33 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a
	(乳児院) □子どもとの日々の関わりのなかで、子どもの満足を把握するように努めている。	○
	(乳児院) □職員等が、保護者等とのコミュニケーションを可能な範囲で図り、定期的に保護者等の満足を把握している。	○
	□把握した子どもの満足を集約する担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために検討会議の設置等が行われている。	○
	□分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

子どもの満足向上のために、アドボケイトに入ってもらっている。又、子どものケアに関しては心理士が中心になって計画を立案し、評価、修正しながら、どのように関わっていけば良いのか、日々考えながら支援に努めている。

(4) 保護者等が意見等を述べやすい体制が確保されている。

①	34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a
	□養育・支援の実施等から生じた苦情に適切に対応することは責務であることを理解し、苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。	○
	□苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を保護者等に配布し説明している。	○
	□苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。	○
	□苦情内容については、受付と解決を図った記録を適切に保管している。	○
	□苦情内容に関する検討内容や対応策、解決結果等については、保護者等に必ずフィードバックするとともに、苦情を申し出た保護者等のプライバシーに配慮したうえで、公開している。	○
	□苦情相談内容にもとづき、養育・支援の質の向上に関わる取組が行われている。	○

【判断した理由・特記事項等】

苦情解決の仕組みは玄関に掲示し、保護者等への周知に努め、併せて意見箱も設置し、意見等を述べ易い体制が確保されている。

②	35 保護者等が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a
	□保護者等が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。	○
	□保護者等に、その文書の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。	○
	□相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。	○

【判断した理由・特記事項等】

保護者等が複数の相談相手を自由に選べることを、わかり易く説明した文書が作成され、家庭支援専門相談員が中心になって日頃から相談や意見を述べ易い雰囲気づくりに心がけ、保護者等に寄り添う姿勢を持って対応している。

③	36 保護者等からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b
	□職員は、日々の養育・支援の実施において、保護者等が相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。	○
	□意見箱の設置、アンケートの実施等、保護者等の意見を積極的に把握する取組を行っている。	○
	□相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。	

<input type="checkbox"/> 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 意見等にもとづき、養育・支援の質の向上に関わる取組が行われている。	○
<input type="checkbox"/> 対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

保護者等が相談し易く意見を述べ易いように配慮し、適切な対応と傾聴に努めている。又、意見箱の設置やアンケートの実施等で意見を把握する取組ができています。今後、相談や意見を受けた際の記録の方法や、報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等の整備を望みたい。

(5) 安心・安全な養育・支援の実施のための組織的な取組が行われている。

① 37 安心・安全な養育・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a
<input type="checkbox"/> リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネジャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。	○
<input type="checkbox"/> 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。	○
<input type="checkbox"/> 子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。	○
<input type="checkbox"/> 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。	○
<input type="checkbox"/> 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

安全対策マニュアルが整備されており、子どもを守るためのリスクマネジメント体制が整備され、些細な事でも共有するよう取組んでいる。

② 38 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
<input type="checkbox"/> 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。	○
<input type="checkbox"/> 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し職員に周知徹底するとともに、定期的に見直している。	○
<input type="checkbox"/> 担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。	○
<input type="checkbox"/> 感染症の予防策が適切に講じられている。	○
<input type="checkbox"/> 感染症が発生した場合には対応が適切に行われている。	○

【判断した理由・特記事項等】

感染症の予防と発生時等の対応マニュアルを作成し、職員に周知する等の取組ができています。又、昨年度は何度かクラスターが発生したが、今年度は現状ではクラスターの発生がなく経過している等、安全確保のための取組ができています。

③ 39 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	b
<input type="checkbox"/> 災害時の対応体制が決められている。	○
<input type="checkbox"/> 立地条件等から災害の影響を把握し、発災時においても養育・支援を継続するために「事業継続計画」(BCP)を定め、必要な対策・訓練等を行っている。	
<input type="checkbox"/> 子ども及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。	○
<input type="checkbox"/> 食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。	○

【判断した理由・特記事項等】

災害時における子どもの安全確保のための、地震、津波、豪雨、大雪等の災害に関するマニュアルが整備されている。又、消防計画では、毎月避難訓練を実施し職員への周知徹底に努めている。今後、養育・支援を継続するために、事業継続計画（BCP）を定め、必要な対策、訓練等を行うよう望みたい。

## 2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の標準的な実施方法が確立している。		第三者 評価結果
①	40 養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が実施されている。	a
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法が適切に文書化されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法には、子どもの尊重や権利擁護とともにプライバシーの保護に関わる姿勢が明示されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。	<input type="radio"/>
【判断した理由・特記事項等】		
養育・支援の実施方法として、養育・支援標準マニュアルを作成して、子どもの援助の基本を具体的に定め、職員への周知が図られている。		
②	41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が施設で定められている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的に行われている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、自立支援計画の内容が必要に応じて反映されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。	<input type="radio"/>
【判断した理由・特記事項等】		
養護・支援標準マニュアルは、年1回の見直しが実施されている。その際、あらかじめ、各職員を衣類係、玩具係等、具体的なマニュアルの分野担当者に指名して内容を検証することにより、マニュアルの改善に取り組んでいる。		
(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。		
①	42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。	a
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画策定の責任者を設置している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 部門を横断したさまざまな職種の関係職員（種別によっては施設以外の関係者も）が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画には、子ども一人ひとりの具体的なニーズ、具体的な養育・支援の内容等が明示されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画を策定するための部門を横断したさまざまな職種による関係職員（種別によっては組織以外の関係者も）の合議、子どもの意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な養育・支援が行われている。	<input type="radio"/>
【判断した理由・特記事項等】		
子どもの特性を踏まえて、必要な支援等を考え、毎月、関係職員がカンファレンスを行い、適切な自立支援計画の策定に取り組んでいる。		

②	43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画どおりに養育・支援が行われていることを確認する仕組みが構築され、機能している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、保護者等の意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 見直しによって変更した自立支援計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、養育・支援を十分に実施できていない内容(ニーズ)等、養育・支援の質の向上に関わる課題等が明確にされている。	○

【判断した理由・特記事項等】

自立支援計画は、子どもの状況を踏まえ、関係職員の参画により、定期的に評価・見直しを実施され、養育・支援の向上が図られている。

(3) 養育・支援の実施の記録が適切に行われている。

①	44 子どもに関する養育・支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもの身体状況や生活状況等を、施設が定めた統一した様式によって把握し記録している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画にもとづく養育・支援が実施されていることを記録により確認することができる。	○
	<input type="checkbox"/> 記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 情報共有を目的とした会議の定期的な開催等、部門横断での取組がなされている。	○
	<input type="checkbox"/> パソコンのネットワークシステムの利用や記録ファイルの回覧等を実施して、施設内で情報を共有する仕組みが整備されている。	○

【判断した理由・特記事項等】

子どもの基本情報は、乳児院で導入しているネットワークシステムの「抱き」を利用して、各職員が統一的に入力・閲覧等を行うことにより、的確かつ迅速な情報を共有する仕組みが整備されている。

②	45 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a
	<input type="checkbox"/> 個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。	○
	<input type="checkbox"/> 個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。	○
	<input type="checkbox"/> 記録管理の責任者が設置されている。	○
	<input type="checkbox"/> 記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。	○
	<input type="checkbox"/> 個人情報の取扱いについて、保護者等に説明している。	○

【判断した理由・特記事項等】

記録の管理については、責任者を施設長として、ネットワークを適切に管理するとともに、紙ベースの記録についても、保管場所の施錠等、管理体制が確立されている。

□

内容評価基準（22項目）

A-1 子どもの権利擁護、最善の利益に向けた養育・支援

(1) 子どもの権利擁護	第三者 評価結果
① A1 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。 <input type="checkbox"/> 子どもの権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。 <input type="checkbox"/> 権利擁護に関する取組について職員が具体的に検討する機会を定期的に設けている。 <input type="checkbox"/> 権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っている。	a  ○  ○  ○
【判断した理由・特記事項等】	
運営規程において、子どもを権利の主体として位置づけ、権利擁護に努めることを謳うとともに、養育・支援標準マニュアルにおいても、権利侵害の防止を定め、子どもの最善の利益を考えて養育に取り組んでいる。また、職員会議や心理士が行う研修等で、権利擁護の取り組みを話し合い、職員の意識向上に努めている。	

(2) 被措置児童等虐待の防止等	第三者 評価結果
① A2 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 不適切なかかわりについて、具体的な例を示し職員に徹底している。 <input type="checkbox"/> 会議等で取り上げる等により、不適切なかかわりが行われていないことを確認している。 <input type="checkbox"/> 不適切なかかわりの防止の視点から、職員体制の見直し等の検討・取組を行っている。 <input type="checkbox"/> 不適切なかかわりがあった場合の対応方法等を明文化している。 <input type="checkbox"/> 被措置児童等虐待の届出・通告制度について対応マニュアルを整備し、研修会などで職員に周知・理解をはかっている。	a  ○  ○  ○  ○
【判断した理由・特記事項等】	
養育・支援標準マニュアルにおいて、不適切なかかわりの例を具体的に示すとともに、職員研修等で職員の意識を高めている。また、不適切なかかわりや、虐待の届出・通告制度についての対応マニュアルも整備されている。	

A-2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の基本	第三者 評価結果
① A3 子どものころによりそいながら、子どもとの愛着関係を育んでいる。 <input type="checkbox"/> 乳幼児に対する受容的・応答性の高いかかわりを心がけている。 <input type="checkbox"/> 子どもと養育者の信頼関係が築かれ、子どもが不安になった時など、いつでも応じられるように養育者が側にいるよう配慮されている。 <input type="checkbox"/> どの乳幼児も保護者等、あるいは担当養育者、里親等、特定のおとなと個別のかかわりを持つことができる体制が整備されている。 <input type="checkbox"/> 特別な配慮が必要な場合を除いては、基本的に入所から退所まで一貫した「担当養育制」をとっている。 <input type="checkbox"/> 担当養育者と個別のかかわりを持つことができる時間を確保している。 <input type="checkbox"/> 語りかけや「だっこ」「おんぶ」などの身体のふれあいを通して心の安定を図り、心地よい状態を共有できるよう努めている。 <input type="checkbox"/> 被虐待経験のある乳幼児等特別な配慮が必要な乳幼児に対しては、個々の状態に応じた関係づくりを行っている。	a  ○  ○  ○  ○  ○
【判断した理由・特記事項等】	
小規模グループケアを基本として、担当養育制をとり、愛着関係を育んでいる。また、担当養育者は、子どもの心に寄り添いながら、個々の状態に応じた対応を心がけ、子どもとの信頼関係の構築に努めている。	

②	A4 子どもの生活体験に配慮し、子どもの発達を支援する環境を整えている。	a
	<input type="checkbox"/> 日々の生活リズムは発達や子どもの気持ちに沿いながら一人ひとりにあった形で進められている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 入所までの生活環境や身体的成長の差等から生じる子ども一人ひとりの違いを十分に把握し、尊重している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの子どもの欲求や要求に対し、抱いたり声をかけるなど、タイミング良く気持ちを受け止め対応している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもの個々の発達や状態に応じた適切な言葉を用い、穏やかに言葉かけをしている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 安定した環境の中、おもいおもいに遊ぶことができる安全で使いやすい遊具などがあり、自由に遊びに取り組めるよう配慮されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 他児と区別された「自分のもの」といえる玩具、食器、衣類、戸棚などの個別化が図られている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 自然と触れ合える外遊びが養育者との十分なやりとりを交え提供されている。	<input type="checkbox"/>

【判断した理由・特記事項等】

小規模グループケアにより、子どもが安心して過ごせる家庭的な雰囲気作りに努めるとともに、個別の時間を取って、マンツーマン的に、ゆっくりかかわる時間を取って、子どもとの信頼関係を深めている。

(2) 食生活

①	A5 乳幼児に対して適切な授乳を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 授乳は、自律授乳を基本としつつ、個々のリズムや体調に合わせて量や時間を工夫している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 授乳時は、乳幼児を抱いて、目を合わせ、やさしく言葉をかけ、ゆったりとした気持ちで飲めるように配慮している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 授乳後は、吐乳・溢乳等を防ぐために排気を十分に行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 一人飲みをさせていない。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 生体リズムの乱れなどで自律授乳や自発的意思の授乳が難しい乳幼児には、その子の状態に応じた授乳を工夫している。	<input type="checkbox"/>

【判断した理由・特記事項等】

栄養士や養育者は、個々のリズムや体調に合わせて、授乳量や時間を調整するなど、細やかな対応をするとともに、我が子のように接して愛情を注ぎ、ゆったりとした気持ちで飲めるよう配慮している。

②	A6 離乳食を進めるに際して十分な配慮を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 在胎期間も含め、入所に至るまでの経過や発育、発達状況を踏まえ、一人ひとりに合わせた食の取組が行われている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 個々の状態に合わせて離乳を開始し、様々な食べ物や味に慣れさせている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 食事をいやがったり遊びだしてしまう場合にも、時間をかけてゆったりとした気持ちで与えている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 噛む力を養うために、食品の種類や調理方法を工夫している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 栄養士や調理員等は養育者とともに、咀嚼や嚥下の状況を確認し発育状況や体調を考慮しながら離乳食を進めている。	<input type="checkbox"/>

【判断した理由・特記事項等】

入所時の基本情報により、子どもの発育・発達状況を踏まえ、個々の状態に合わせて、時間をかけゆったりと離乳食を進めている。また、業務マニュアルの中で、離乳食の進め方を定め、栄養士・養育者ともに共通の理解が図られている。

③	A7 食事がおいしく楽しく食べられるよう工夫している。	a
---	-----------------------------	---

<input type="checkbox"/>	食事場所は清潔に保たれ、明るく楽しい雰囲気ですぐに食事ができるよう工夫している。	○
<input type="checkbox"/>	子どもが食べやすいように、身体に合わせてテーブルと椅子の高さを適切に調整している。	○
<input type="checkbox"/>	乳幼児が自分で食べようとする意欲を育てられるように、手に持って食べやすいものを用意したり、食器やスプーンなどに触れられるように配慮している。	○
<input type="checkbox"/>	食前の手洗い、食前食後のあいさつ、食後の歯磨きなどが定着するよう支援している。	○
<input type="checkbox"/>	養育者や他児と一緒に食事を楽しんでいる。	○
<input type="checkbox"/>	食事の食べ方や量にばらつきがあっても全部食べることにこだわらず、おいしく楽しく食べられるように、子どもと視線を合わせ、様子をみながら言葉をかけるなど雰囲気づくりに気を配っている。	○
<input type="checkbox"/>	日々の食生活を通じて食べたいものや好きなものが増える工夫がされている。	○
<input type="checkbox"/>	お腹がすくりズムが持てるよう、朝食・昼食・夕食の間隔は適正になっている。	○
<input type="checkbox"/>	栄養士、調理員等が、食事の様子をみたり、介助するなか、一人ひとりの発育状況や体調を考慮した調理を工夫している。	○

【判断した理由・特記事項等】

子どもの発育状況や、その日の体調に配慮した食事の提供をするとともに、食事中は、楽しい雰囲気ですぐに食べられるよう、声掛けや介助などを工夫している。また、年間の行事の中で、食事の楽しさを感じてもらえるよう、かき氷やホットケーキなど、日常の食事にはないメニューも、取り入れている。

④	A8 栄養管理に十分な注意を払っている。	a
<input type="checkbox"/>	十分なカロリーと栄養のバランスよい献立が、栄養士により準備されている。	○
<input type="checkbox"/>	栄養だけではなく季節感を取り入れた食事が提供されている。	○
<input type="checkbox"/>	乳幼児の体調、疾病、アレルギー等に個別に対応した食事を提供している。	○
<input type="checkbox"/>	乳幼児の嗜好や栄養摂取量の把握に努め、献立に反映している。	○
<input type="checkbox"/>	さまざまな「食育」への取組を行っている。	○
<input type="checkbox"/>	発達に応じて、食事の準備や食事作りを見たり、かかわる機会を持ち、食べることに興味関心を持つことができるよう工夫している。	○

【判断した理由・特記事項等】

栄養士は、綿密なカロリー計算を行って、十分な栄養管理を実施するとともに、食中毒などを起こさないよう細心の注意を払っている。月に1回、給食委員会を開催し、栄養士と養育者が連携して、子どもの体調や嗜好等に対応した献立を作成している。また、旬の食材を使ったり、地の物を取り入れるなど、食育に取り組んでいる。

(3) 日常生活等の支援

①	A9 気候や場面、発達に応じた清潔な衣類を用意し、適切な衣類管理を行っている。	a
<input type="checkbox"/>	衣類は吸湿性・通気性に富み、清潔を保ち、肌に刺激の少ない材質を使用している。	○
<input type="checkbox"/>	乳幼児の体型を考慮し、活動を阻害せず、着脱が容易なものを使用している。	○
<input type="checkbox"/>	気候調節へ配慮し、寒暖の状態に適した枚数と厚さにしている。	○
<input type="checkbox"/>	寝ている生活が主なときは前開きのものを、動きが活発になったら活動的で腹部や背中に出ないものを選ぶなど、生活実態に適し、個々の発達に応じた衣類管理を行っている。	○
<input type="checkbox"/>	衣類は個別化し、個人別に収納している。	○

【判断した理由・特記事項等】

各浴室に洗濯機が設置され、常に清潔な衣類が用意されている。衣類は子どもの成長に合わせて準備され、個人別に整理して収納されている。また、例えば、子どもの好きなアニメを考慮した衣服の購入や、靴もサイズだけでなく、足の甲の高さに合わせたものを用意するなど、衣類管理に工夫がなされている。

②	A10 乳幼児が快適に十分な睡眠をとれるよう取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 室内の環境として、温・湿度、換気、明るさ、静かさ、音楽などを快適に保っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 寝具の環境として、肌に触れる素材は綿素材を用い、広さ、形状、硬さなどを快適に保っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 睡眠時の状況を観察している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 快適に十分な睡眠をとれるよう、個々の乳幼児の発達・心理に配慮した職員の対応など具体的な独自の取組を行っている。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

子どもが快適な睡眠をとれるよう、適温・適湿度を心がけ、冷暖房や扇風機、加湿器などを用いて、心地よい部屋の管理が行われている。また、睡眠時は、15分おきの巡視をして、ネットワークシステムに記録するとともに、睡眠中子どもが動いた時に知らせてくれる、見守り機器を利用し、子どもの安全を確保している。

③	A11 快適な入浴・沐浴ができるようにしている。	a
	<input type="checkbox"/> 入浴・沐浴を毎日している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 浴室・沐浴槽などの設備やタオル・バスタオルなどの備品は常に清潔が保たれている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 乳幼児の年齢、発達、発育等、個々の状況に応じた入浴方法がとられている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 安心して、心地よく、楽しい入浴・沐浴になるような言葉掛けなどの配慮がなされている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 入浴・沐浴に際し、おもちゃ等を用意し、心地よい体験になるよう工夫している。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

毎日、一人ずつ入浴・沐浴をおこない、肌の乾燥防止のため保湿クリームを利用するとともに、子どもの状態に応じてベビー石鹸を使うなど、個々の状況に応じた入浴がなされている。また、皮膚疾患の感染対策に配慮するとともに、常に目を離さないようにして、安全な入浴に努めている。

④	A12 乳幼児が排泄への意識を持てるように工夫している。	a
	<input type="checkbox"/> おむつ交換のときに、言葉をかけながら身体をマッサージなどして、おむつ交換が心地よいものであることを伝えるように心がけている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 発達段階に応じて、排泄への興味を持てるように配慮している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 発達段階に応じて、おむつが濡れていないときは、便座に誘導するなどして自分から便座に座る意欲を持てるように配慮している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 発達段階に応じて、個々の幼児のリズムや気持ちに合わせて誘導を行っている。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

おむつ交換は、子どもに声掛けをし、目を見ながら、感染に注意しておこなっている。トイレトレーニングは、強要せず、一人ひとりの発達に応じて、時期を見ながら、無理のないトレーニングを進めている。

⑤	A13 発達段階に応じて乳幼児が楽しく遊べるように工夫している。	a
	<input type="checkbox"/> 玩具の色・形や音色などを選ぶように工夫している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 戸外に出かけ、外界への興味を広げられるように配慮している。	<input type="radio"/>

<input type="checkbox"/> 模倣遊びや職員や他の乳幼児とのふれあい遊びを通して、情緒の育成を図り、人との豊かなかかわりができるように配慮している。	○
<input type="checkbox"/> 養育者や他の子どもと楽しく遊ぶことができるよう心がけている。	○
<input type="checkbox"/> 子どもの五感を育てる遊びが提供できるよう工夫している。	○
<input type="checkbox"/> 月齢により、収納場所を設け、玩具の個別化をし、自分の物という喜びや認識ができるよう工夫している。	○
<input type="checkbox"/> 子どもの手の届く所に玩具の収納場所を設け、年齢によっては自由に出し入れして遊べるようにしている。	○

【判断した理由・特記事項等】

月5回、音楽療法士が、子どもの五感を育てる関わりをおこなっている。院外での遊び体験として、和歌山つくし会が開設した、バンビーニ広場を利用したり、3歳児以上の一泊旅行を体験させるなど、身体の発達を促し、興味が広げられるように配慮している。

(4) 健康

①	A14 一人ひとりの乳幼児の健康を管理し、異常がある場合には適切に対応している。	a
	<input type="checkbox"/> 健康観察記録を作成し、日々の健康状態の変化が一目で把握できるように工夫している。	○
	<input type="checkbox"/> 日常的に医療機関等と適切に連携するよう努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 嘱託医による定期健康診断では、身体発育の状態や精神・運動発達・情緒的問題等について総合的な診察を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 乳幼児の条件や集団の構成に応じて、適宜予防接種を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 異常がある場合には、医療機関を受診するなど適切に対応している。	○
	<input type="checkbox"/> ミルクや離乳食を開始した当初は、発疹などアレルギー症状の出現に注意し、異常所見が見られた場合には速やかに医師に相談し対応策を講じている。	○

【判断した理由・特記事項等】

一人ひとりの健康観察を行ってネットワークシステムに記録するとともに、日々の健康状態だけでなく、身体計測・予防接種・健康診断・既往症等も、情報共有できるようにしている。嘱託医は、定期健康診断やワクチン接種だけでなく、発育状況や運動面・精神面等総合的な診察をおこなっており、歯科健診も実施している。

②	A15 病・虚弱児等の健康管理について、日常生活上で適切な対応策をとっている。	a
	<input type="checkbox"/> 病・虚弱児等個々の健康状態の変化が、常に把握できるように工夫している。	○
	<input type="checkbox"/> 服薬管理表等により、適切な服薬管理を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 専門医や主治医の協力のもと、乳幼児の健康状態に応じた療育計画や発達支援計画などを含む支援のプログラム等を作成して、乳幼児の適切な発達を支援している。	○
	<input type="checkbox"/> 専門医や主治医による定例的な診断を受けている。	○
	<input type="checkbox"/> 異常所見がみられた場合には、速やかに専門医や主治医に相談できる連絡体制をとっている。	○

【判断した理由・特記事項等】

現在、医療的ケア児はいないが、発達支援については、和歌山つくし会のつくし医療・福祉センターの小児科医師により、月1回子どもの発達相談を行い、外来診療や理学療法に繋げるとともに、自立支援計画にも反映させている。服薬については、ネットワークシステムにより、職員間で情報共有するとともに、複数人による服用確認をおこない、適切な服薬管理を図っている。

(5) 心理的ケア

①	A16 乳幼児と保護者等に必要な心理的支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 心理的な支援を必要とする乳幼児について、保護者等への支援も視野に入れた自立支援計画や養育計画に基づき、心理支援内容が明示されている。	○
	<input type="checkbox"/> 心理支援内容には、個別・具体的方法が明示されており、その方法により心理的支援が実施されている。	○

<input type="checkbox"/> 心理職をおき、乳幼児にも保護者等にも心理的な援助を行える体制が整っている。	○
<input type="checkbox"/> 必要に応じて外部の専門家から直接的支援を受ける体制が整っている。	○
<input type="checkbox"/> 心理的なケアが必要な乳幼児や保護者等への対応に関する職員研修やコンサルテーションが行われている。	○

【判断した理由・特記事項等】

心理士が、心理的な支援を必要とする乳幼児に、自立支援計画に基づいた支援プランを立ててケアを行っている。また、外部のスーパーバイザーが、心理士や保育士、家庭支援専門相談員を対象に、子どものケースに関して助言する機会を設けて、職員が行う子どもや保護者の心理的支援の援助を図っている。

(6) 親子関係の再構築支援等

① A17 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。	a
<input type="checkbox"/> 家庭支援専門相談員が中心となって施設と家族との信頼関係を構築するように努めている。	○
<input type="checkbox"/> 施設が家族と共に子どもの成長を喜び合う雰囲気大切にしている。	○
<input type="checkbox"/> 面会時に必要に応じて保護者等の養育スキルの向上を支援している。	○
<input type="checkbox"/> 保護者等の相談に積極的に応じるための保護者等面接の設定等、専門的なカウンセリング機能の充実に努めている。	○
<input type="checkbox"/> 家庭支援専門相談員は、家族に寄り添い、保護者等の言葉を傾聴する役割を担っている。	○
<input type="checkbox"/> 乳幼児の協働養育者として、日常生活の様子を写真やお手紙に書いて家族に伝えている。	○

【判断した理由・特記事項等】

家庭支援専門相談員が中心となり、保護者との信頼関係に取り組んでおり、毎月、保護者に子どもの成長を伝えるため、手紙や写真を送付している。また、面会の際には、保護者の養育スキルの向上を支援するとともに、電話対応にも丁寧に耳を傾け、保護者に寄り添って傾聴している。

② A18 親子関係再構築等のため、家族への支援に積極的に取り組んでいる。	a
<input type="checkbox"/> 家庭支援に関する具体的なプログラムや配慮事項が明記されている。	○
<input type="checkbox"/> 入所理由の理解とケアの方向性についてアセスメントしている。	○
<input type="checkbox"/> 子どもと家族との関係調整については、定例的かつ必要に応じて児童相談所等と協議を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 面会、外出、施設宿泊、一時帰宅などを計画的に設定し、乳幼児と保護者等との関係性が好転し、保護者等の養育意欲が向上するよう支えている。	○
<input type="checkbox"/> 面会、外出、一時帰宅後の乳幼児の様子を注意深く観察し、家族からの不適切なかかわりがあった場合には、その発見ができるように努めている。	○
<input type="checkbox"/> 課題の内容によっては適切な機関につなげられるよう、地域の精神、心理相談のできる機関を十分に把握し、連携をとっている。	○
<input type="checkbox"/> 児童相談所を中心とした他機関との協働により、虐待の未然防止と家族機能の再生、親子関係の再構築に向けてのサービス資源の提供などのソーシャルワークを行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

子どもと家族との関係調整は、月1回児童相談所との協議により、具体的なプログラムを策定し、現状をアセスメントしながら取り組んでいる。面会や外出、一時帰宅も慎重に進め、保護者の養育や家庭環境をみながら、不適切な関わりの有無を注意深く観察するよう努めている。

(7) 養育・支援の継続性とアフターケア

① A19 退所後、子どもが安定した生活を送ることができるよう取り組んでいる。	a
<input type="checkbox"/> 子どもの退所先に応じて、退所後の生活に向けて必要な支援を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 退所後、施設に相談できる窓口(担当者)がある等、必要に応じた支援をするための体制を整えている。	○

児童相談所や関係機関、民間団体等と連携を図りながら退所後の支援を行っている。

○

【判断した理由・特記事項等】

家庭復帰・里親・他の施設・ファミリーホームなどの退所先に応じて、退所後の子どもが新しい環境に慣れ、安定した生活を送れるよう、入所中から退所予定先との継続した関係づくりに取り組んでいる。また、退所後も里親等への訪問を行うとともに、退所後の相談窓口を設け、電話対応などの支援を行っている。

(8) 継続的な里親支援の体制整備

①

A20 継続的な里親支援の体制を整備している。

a

養育単位の小規模化による家庭的養護の推進や、早期に家庭復帰が見込めない乳幼児には個々の状況に応じて里親委託を推進している。

○

里親委託の推進に当たり、里親支援機能の充実などの中・長期計画を明確にしている。

○

里親支援専門相談員を配置するなど、里親委託の推進、地域の里親及びファミリーホームに対する継続的な支援の体制を整備している。

○

里親委託に当たり、委託に至るまでに里親・児童相談所等と丁寧な連携を行っている。

○

里親を希望する地域の人を対象に相談を行うなど、支援の取り組みを行っている。

○

相談支援のほか研修、レスパイトを行うなど、里親の状況に応じた取り組みを行っている。

○

【判断した理由・特記事項等】

里親支援については、乳児院に里親支援センターなどしこを設置し、センター長をはじめ、里親支援専門員や里親支援員、心理士など、多様な職種により、計画・支援・教育・相談・研修会・連携会議・家庭訪問などを行い、組織的、継続的に取り組んでいる。

(9) 一時保護委託への対応

①

A21 一時保護委託を受ける体制が整備され、積極的に受け入れを行っている。

a

児童相談所と連携して、初期の情報共有とアセスメントに努めている。

○

一時保護を受ける際のマニュアルが整備されている。

○

入所時の健康管理に努めている。

○

感染症やアレルギー等の観察と配慮に努めている。

○

多様な職種が連携・協同し、一時保護後の養育環境(家庭復帰・里親、児童福祉施設等)の確保に向けてアセスメントに基づく支援を行っている。

○

【判断した理由・特記事項等】

一時保護のマニュアルが整備され、地域の子育て支援推進のため、ショートステイにも取り組んでいる。入所時は、嘱託医の診察後、受け入れを行い、診察時には、直接児童相談所から、健康状態等の情報の申し送りを受け、子どもの健康管理に努めている。

②

A22 緊急一時保護委託を受ける体制が整備され、積極的に受け入れを行っている。

a

児童相談所から緊急一時保護を受け入れている。

○

緊急一時保護を受ける際のマニュアルが整備されている。

○

観察室での「観察期間」の実施を順守して対応を行っている。

○

入所時に、必要に応じて医療機関との連携をはかる等の対応を行っている。

○

感染症や潜伏期間等への対応が十分にできている。

○

受け入れ後の多職種による連携したアセスメントが実施されている。

○

【判断した理由・特記事項等】

児童相談所から緊急一時保護を受け入れ、マニュアルも整備されている。入所時は、嘱託医又は医療機関の受診を徹底している。また、緊急一時保護された子どもに寄り添ってケアを行うとともに、子どもの状態等を、家庭支援専門相談員から、きめ細かく児童相談所に伝え、連携を密にしている。